

高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 国土交通省への合同提言活動

令和3年11月16日から17日にかけて、「高知県道路利用者会議（会長 楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（道全協こうち 会長 池田洋光）」が、国土交通省 吉岡技監及び佐々木道路局次長に対して、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策など必要な施策の経済対策への反映及び別枠での予算計上などについて提言を行いました。

●主な提言項目

- 一、高規格道路のミッシングリンクの解消、ダブルネットワークの構築を目指した四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化
- 一、ポストコロナの経済的対応及び、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策など必要な施策については、経済対策に適切に盛り込むとともに、通常予算とは別枠で計上し、計画的に事業執行を行うこと
- 一、南海トラフ地震対策及び通学路等の交通安全対策に必要な予算の確保

●国土交通省（吉岡 幹夫 技監）への提言 ※11月16日（火）



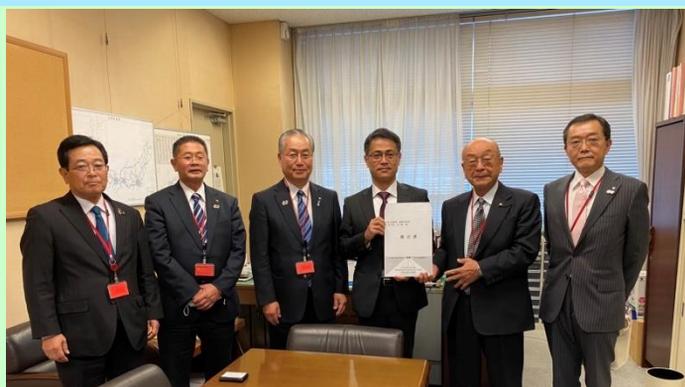
【提言概要】

- 未事業化区間の早期事業化（楠瀬会長）
 - ・県西部「宿毛～内海」、県東部「奈半利～安芸」事業化に向けて着実に前進。
 - ・「四国8の字ネットワーク」の早期整備は地域経済の活性化に大きく寄与。
- 5か年加速化対策の予算確保（池田会長）
 - ・まずは経済対策として補正予算に盛り込む事が重要。
 - ・そのうえで、計画的に事業を執行するため、5か年加速化対策の当初予算配分も重要。
- 5か年加速化対策の予算確保（小田副会長）
 - ・沿線地域の生活、産業、災害時の救援部隊の進出を支える国道33号は「命の道」。
 - ・予算の安定的な確保による着実な整備は利用者の安全性確保と利便性の向上、観光振興に寄与する。

左から、道全協こうち小田副会長(越知町長)、道全協こうち横山副会長(安芸市長)、高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川竹・タジノ協議会会長)、吉岡技監、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、道全協こうち中平副会長(四万十市長)

吉岡技監からは「ミッシングリンクの解消、ダブルネットワークの構築が重要。防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策などをしっかりと頑張ってください。」と心強いお言葉を頂いた。

●国土交通省（佐々木 正士郎 道路局次長）への提言 ※11月17日（水）



【提言概要】

- 南海トラフ地震対策に必要な予算確保（中平副会長）
 - ・南海トラフ地震の切迫度が高まる本県では、8の字ネットワークの延伸を見据えた、庁舎の高台移転等の取組みを進めている。
 - ・予算確保による災害に強い道路ネットワークの整備は地域の取組みと相まって、地域防災力の向上に寄与。
- 交通安全対策に必要な予算確保（横山副会長）
 - ・県道や市町村道では、これまでに国の交付金事業を活用し、歩道整備などの交通安全対策を実施。
 - ・本年6月の千葉県事故を受けて、通学路の交通安全を一層確保するために通学路の合同点検を実施。
 - ・子供たちの通学路等の安全を確保するため、引き続きの支援が重要。

左から、道全協こうち横山副会長(安芸市長)、道全協こうち中平副会長(四万十市長)、道全協こうち池田会長(中土佐町長)、佐々木次長、高知県道路利用者会議楠瀬会長(高知県川竹・タジノ協議会会長)、道全協こうち小田副会長(越知町長)

佐々木次長からは「まずは、5か年加速化対策の総枠確保。災害対策は非常に重要であり8の字ネットワークをしっかりと進める。交通安全についても要望に応えられるよう進める。」と力強いお言葉を頂いた。

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。
私達は、整備された道路を活用しストック効果をより拡大することで、経済の活性化につなげます。